

「認知症サポーターの参加により、
住民互助活動が活性化した取り組みについて」



神石高原町 保健福祉課



1 まちの紹介

神石高原町の概要

■平成16年11月5日 3町1村が合併

- 面積は広島県の約1/20 (381.81km²)
- 標高400m~500m (最高峰835m)
- 合併時12,454人の人口が激減

■人口・世帯数 (令和3年12月1日現在)

人口 8,510人 世帯数 3,881世帯
高齢化率 48.7% (高齢者数 4,145人)
100歳以上人口 27人 (0.3%)

高齢者世帯 (46.0%) 高齢独居世帯 (26.7%)

後期高齢化率 28.7% (後期高齢者 2,446人)

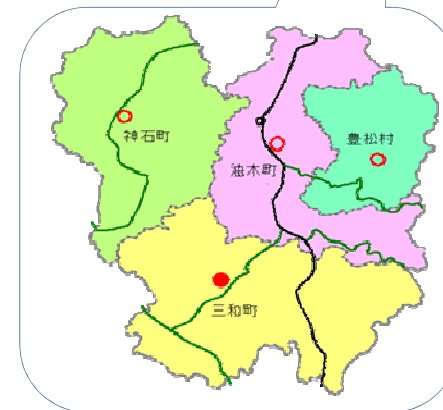
要介護・要支援認定者数 1,048人

(予防304人、介護744人)

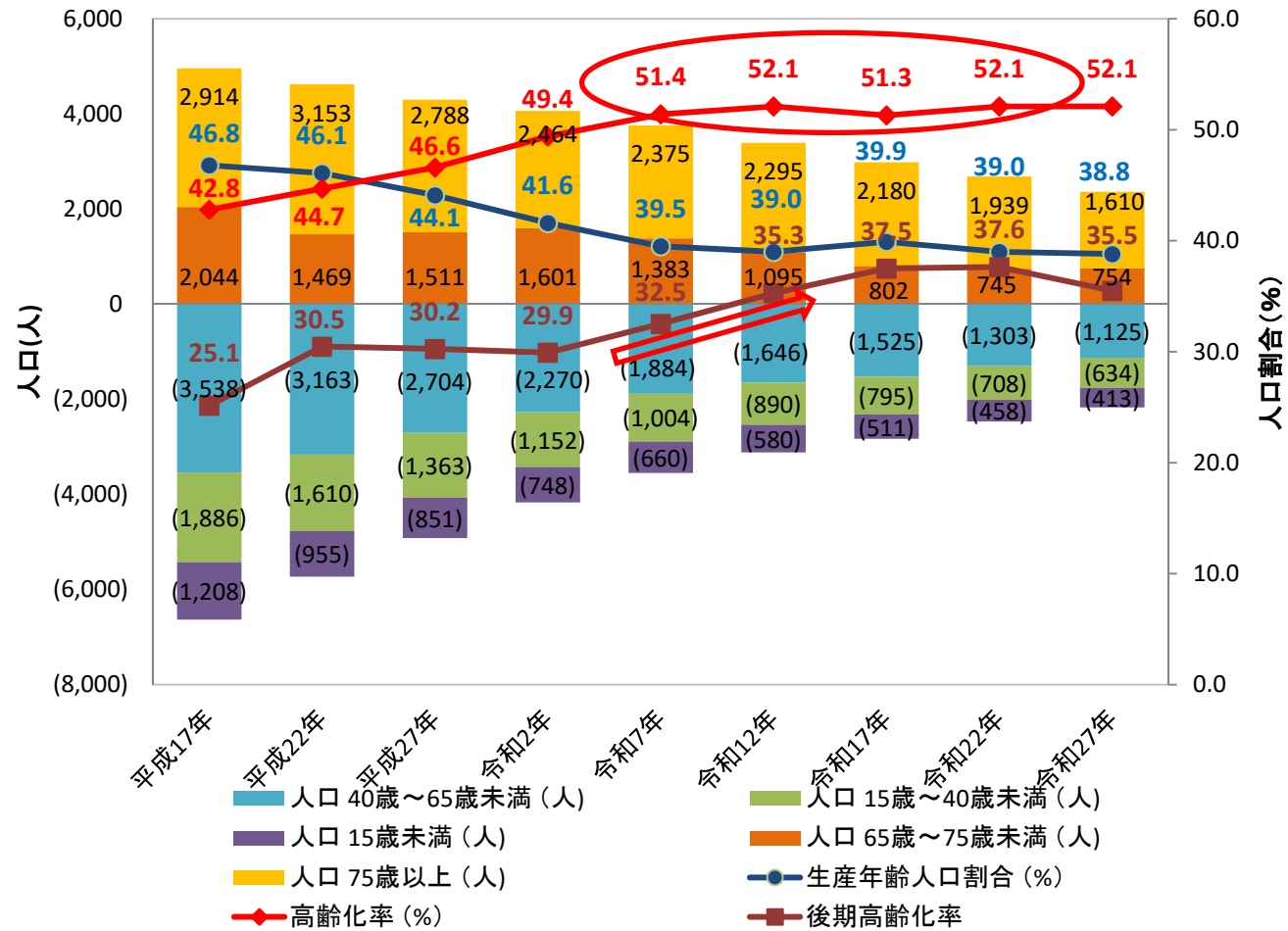
要介護認定率 25.1%

■資源

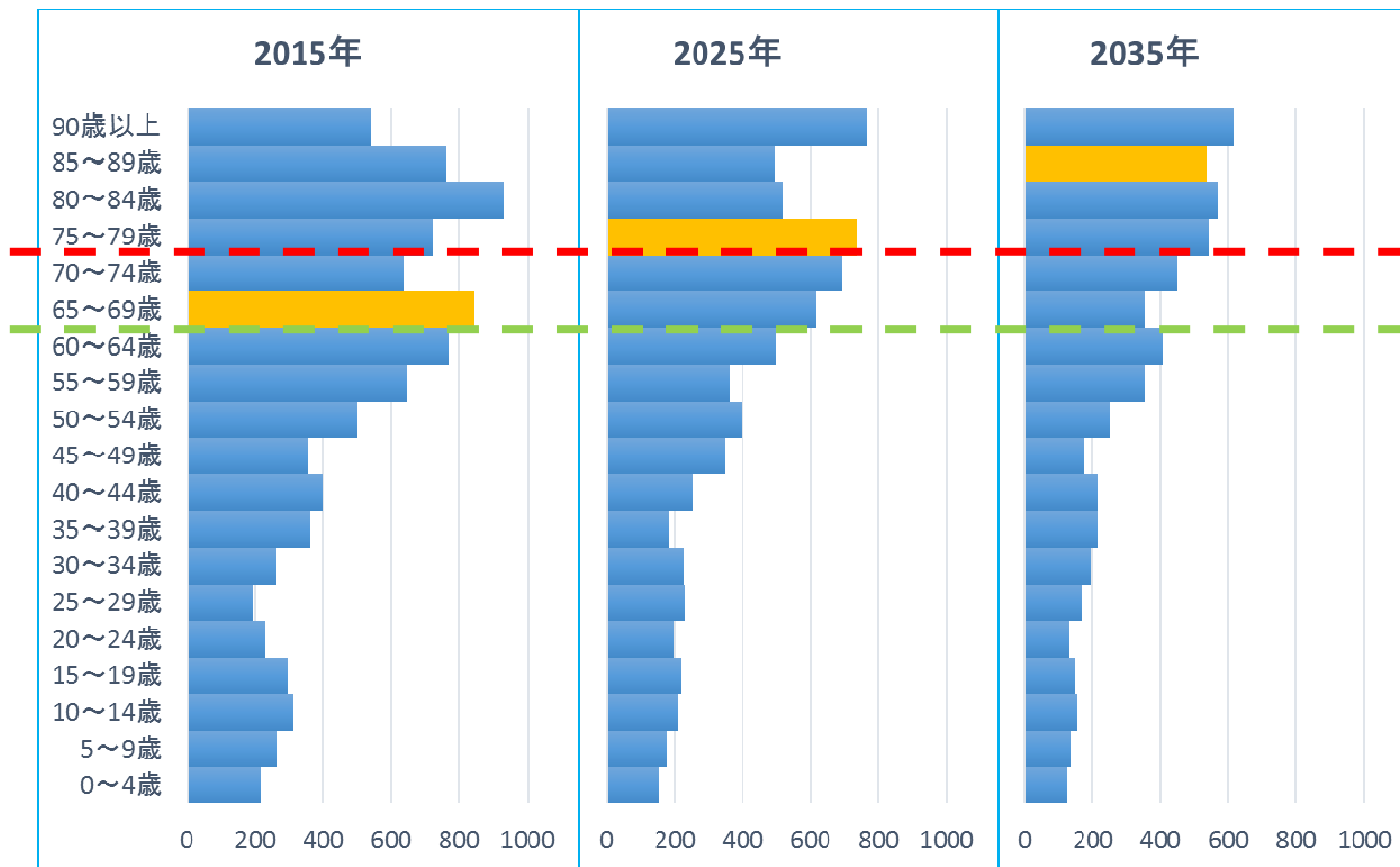
地域包括支援センター直営1ヶ所・ブランチ4ヶ所
協働支援センター 4ヶ所 (旧町村単位)



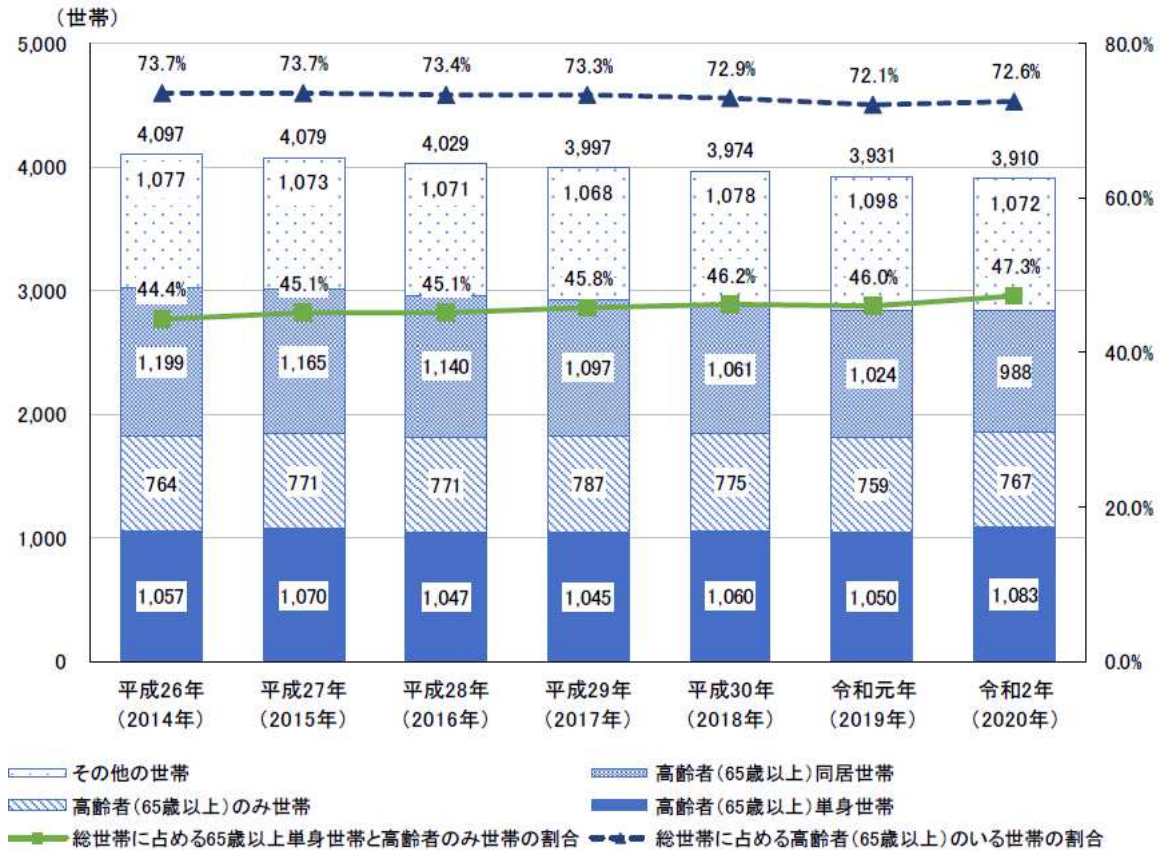
神石高原町の人口の推移と推計



神石高原町の人口ピラミッドの変化(推計)

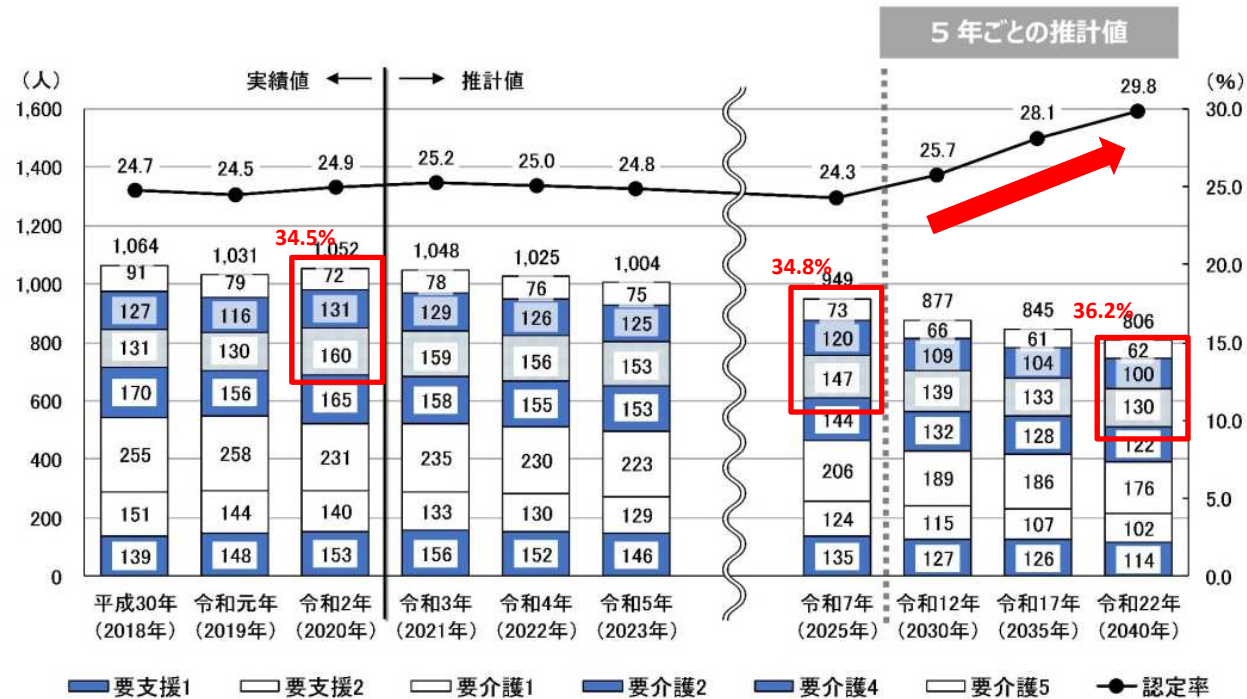


高齢者世帯の推移



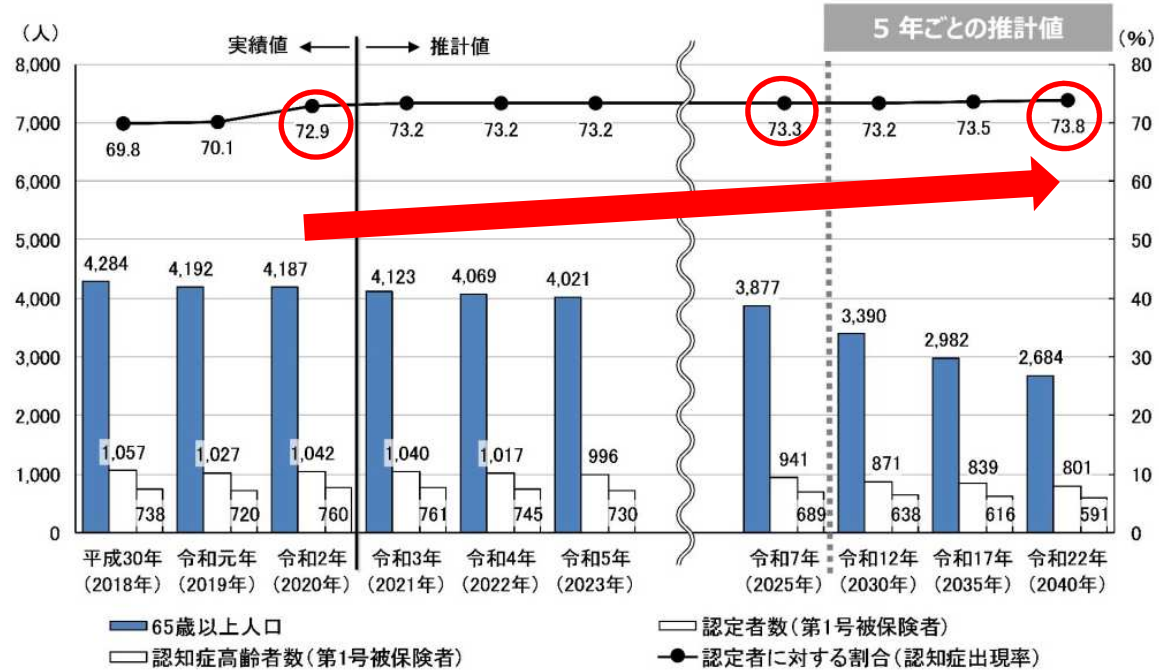
※ 住民基本台帳による世帯数(各年9月末)

要介護認定者数の推移と推計



※ 実績値は介護保険事業状況報告(各年9月末)
 推計値は「見える化」システム将来推計総括表より

認知症高齢者の推移と推計



※認知症高齢者数は「認知症高齢者の日常生活自立度」IIa以上の人数。各年9月末実績。
 令和3(2021)年以降は推計値(令和2(2020)年の「認知症高齢者の日常生活自立度」IIa以上の認定者に占める割合を、将来の要介護(支援)認定者数に乗じて算出)。

データから見た神石高原町の姿

■高齢者単独世帯の増大

(高齢者世帯1/2・高齢独居世帯1/3)

ちょっとした、生活の困りごとが出てくる

■介護リスクの高い、75歳以上の高齢者が増大

■80歳以上の高齢者は、認知症リスクが高い

2

住民参画（自助・互助）の推進 ～見守り・支え合いの地域づくり～

神石高原町第8期高齢者プランより

基本理念

… 高齢者一人ひとりが輝き、緑豊かな住み慣れた地域
で安心して暮らせる神石高原町

基本方針

… **重点取組** ①介護予防・健康づくりの推進
②自立支援・重度化防止の推進
③「共生」と「予防」の認知症施策の推進

具体的な取組

… **1) 生活支援体制整備事業**
“いろいろな見守り・支え合い” をテーマに
講演会開催
『見守りガイド・暮らしのお助け帳』作成
2) 認知症サポーター養成講座受講者の活動の場
通いの場お世話人研修会…百歳体操
一般 …認知症予防教室スタッフ
認知症予防カフェスタッフ

3

具体的な取組み

1) 生活支援体制整備事業・・・（社会福祉協議会委託事業）

第1層協議体を設置し、SC1名配置する。
社会福祉協議会・町で協議
（定期的に社協・保健福祉課・未来創造課で打ち合わせ実施）

第7期高齢者プラン

一人暮らし・高齢者世帯・認知症の高齢者が増加する中で、「**いろいろな見守り**」を重点テーマに取り組む。

①地域資源マップの作成

②研修会開催

テーマ：「**いろいろな見守り・支え合い**」
（各地域の取組活動を発表する）

➡訪問活動・通いの場・カフェ活動を通して気にかける穏やかな見守りが実施されている。

第8期高齢者プラン

第7期からの課題「**買い物**」と「**さりげない見守り**」
“見守りガイド・暮らしのお助け帳”作成し活用に向けて協議する。

見守りガイド・暮らしのお助け帳（2021年版）

みんな元気でふれあい支え合い

見守りガイド



もくじ

- はじめに ②
- 見守り活動について ③
- いろいろな見守りの“かたち” ④
- 「助けて」「応援して」の発信 ⑤
- セーフティーネット ⑧
- いつもと違うと感じたら ⑨
- つなぎ先・専門機関連絡先 ⑨

神石高原町社会福祉協議会 / 神石高原町

裏面に「暮らしのお助け帳」掲載

神石高原町生活支援体制整備事業

暮らしのお助け帳



2021年版

裏面に「見守りガイド」掲載

2) 認知症サポーター養成講座

～「共生」と「予防」の認知症施策の推進～

認知症予防教室（脳いきいき教室）



課題：卒業後に通える場所へつなぐ
（認知症予防カフェ・地域サロン・通いの場など）

認知症サポーター養成講座の実施

①通いの場お世話人研修会



お世話人の声掛け見守り支援

- ・認知症の人の参加増加（要介護2）
- ・新規立ち上げの目的になっている（閉じこもり予防）

②自治振興会・女性会等・
老人会等、各種団体



認知症予防教室スタッフ
認知症予防カフェスタッフ

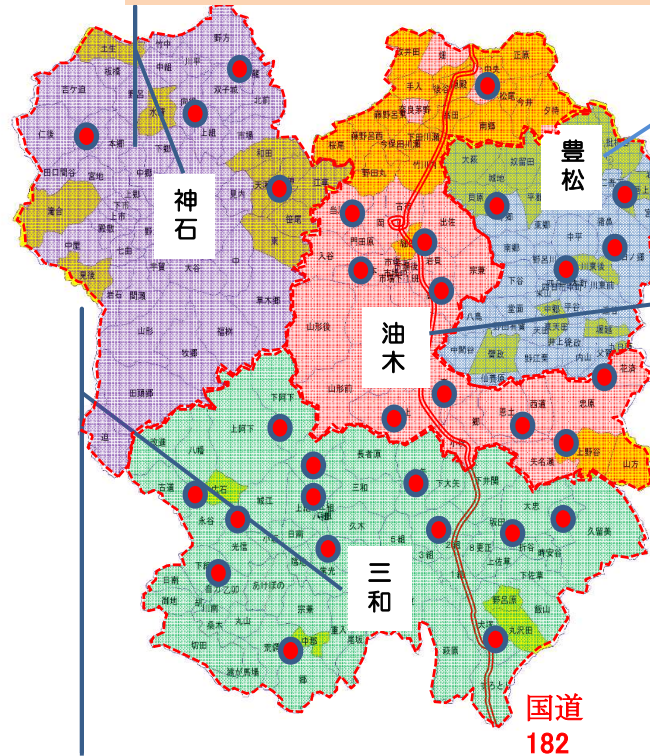
- ・身近な地域での声掛けや自然な見守り支援へとつながっている

<いきいき百歳体操実施状況>



永野南 : (金) 9時半～
 古川 : (木) 9時～
 相渡 : (水) 9時～
 ながの村 : (水) 13:時15分～

高蓋 : (水) 14時～
 木津和 : (水) 13時半～
 上 : (水) 13時半～
 小畠 : (金) 13時半～
 町立病院 : (火) 10時半～
 時安 : (火) 9時～
 父木野 : (水) 13時半～
 坂瀬川 : (水) 13時半
 井関 : (火) 13時半～
 大矢 : (金) 10時～
 阿下 : (木) 11時半～
 竹之上 : (木) 10時～
 光信 : (月) 13時半～



下豊松 : (火) 10時～
 日ノ郷 : (金) 10時～
 有木 : (金) 13時半～
 笹尾 : (火) 10時～
 牧迫 : (月) 13時半～

いちば : (水) 14時～
 忠原 : (金) 13時半～
 東南油木 : (金) 14時～
 李 : (水) 14時～
 小吹 : (月) 13時半～
 小野・新坂 : (火) 10時～
 上野 : (火) 14時～
 西油木 : (火) 14時～
 郷 : (火) 14時～

地区名	実施数	自治振興 会数
油木	9ヶ所	9
神石	4ヶ所	9
豊松	5ヶ所	4
三和	13ヶ所	8
合計	31ヶ所	30

地域で取り組まれている活動

◆認知症予防カフェ実施状況

地区	名称	場所	日時
油木	喫茶子 天神原	永聖寺 法泉寺	毎月第3金曜日10:00~
神石	ふれあい	神石福祉センター	毎月第2, 4火曜日 13:30~
豊松	なごみ	ふれあい会館	毎月第2, 4月曜日 13:30~
三和	なごみ	小畠交流会館	毎月第2, 4火曜日 13:30~



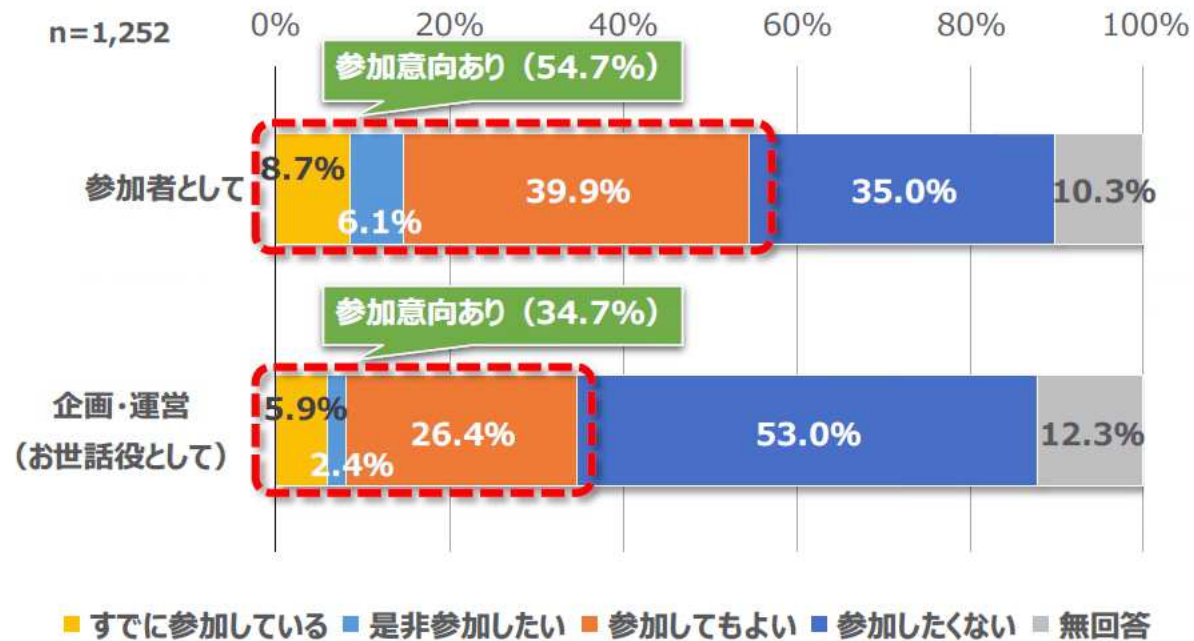
◆認知症サポーター養成講座

年度	回数	内自治会開催	受講者数
平成30年	5回	(3回)	149人
令和元年	6回	(2回)	149人
令和2年	7回	(1回)	102人

地域づくりへの参加意向

(第8期高齢者プランニーズ調査より)

■ 介護予防・日常生活圏域コース調査



4 今後の取組み ～住民参加（自助・互助）の推進～

生活支援体制 整備事業

- ・「見守りガイド・暮らしのお助け帳」の普及と活用（人と人のつながり促進）
- ・協力者の意識：“自分もいつ何があるか分からんから、お互いじゃけえね”

認知症サポーター養成講座

- ・地域に認知症の理解者を増やし資源の拡充と、継続研修をすることで具体的な活動につながる。
- ・地域の身近な理解者を増やすことで、早期発見と「予防」と「共生」の実現に向かう。

情報・課題を共有 する

- ・サロンや通いの場など、あらゆる場を通じて地域の状況・課題を共有し、関係者・機関で連携しながら共に考え知恵を出し合う。

〈ふれあい・支え合いの地域づくり〉（長期総合計画より）

“一人暮らしだけど、独りぼっちじゃない”

～「小さくても 元気のでるまちづくり」をめざして～



ご静聴ありがとうございました